



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルヤ金属

コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 榎田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	14,128	△13.3	759	△49.6	746	△52.7	350	△58.2
27年6月期第3四半期	16,288	△23.6	1,506	68.7	1,578	71.8	838	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	48.81	48.65
27年6月期第3四半期	117.08	116.63

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	20,038		14,982			74.5
27年6月期	21,777		14,970			68.5

(参考)自己資本 28年6月期第3四半期 14,932百万円 27年6月期 14,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
28年6月期	—	0.00	—		
28年6月期(予想)				50.00	50.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△25.8	1,129	△41.3	1,104	△44.9	636	△43.9	88.71

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期3Q	7,265,212 株	27年6月期	7,265,212 株
28年6月期3Q	87,169 株	27年6月期	100,334 株
28年6月期3Q	7,265,212 株	27年6月期3Q	7,265,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、米国経済の順調な回復とギリシャ債務問題が一段落した欧州経済の緩やかな回復もあって、全体として緩やかな回復基調が続いたものの、中国経済の減速・株式市場の混乱や、日米の金利政策などで国内株式相場や為替相場が乱高下し、原油を中心に資源価格が一時大きく値下がりしたことに加えて、欧州大手自動車メーカーの不正問題発覚により、一部の貴金属価格が大きく値下がりしました。

このような経済環境の中、各種電子部品や電子デバイス、半導体向けの需要は、スマートフォン関連が堅調で、半導体製造装置向け温度センサーの受注も堅調に推移いたしました。HD向けのルテニウムターゲットや、有機EL向け化合物などが顧客の生産調整の影響でそれら製品の受注が減少しました。また、貴金属価格の下落に伴う販売価格の値下がり、売上・利益ともに影響を受け、第1四半期会計期間にたな卸資産の評価減を実施し、製造原価に435百万円を計上いたしました。その結果、当第3四半期累計期間において、売上高14,128百万円(前年同四半期比13.3%減)、売上総利益2,292百万円(前年同四半期比23.0%減)、営業利益759百万円(前年同四半期比49.6%減)、経常利益746百万円(前年同四半期比52.7%減)、四半期純利益350百万円(前年同四半期比58.2%減)となりました。なお、製造原価に計上した、たな卸資産の評価減を実施する前の水準では、営業利益1,195百万円、経常利益1,182百万円となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボの受注は堅調に推移しましたが、ガラス溶解装置向け強化白金ルツボの受注が伸び悩み、貴金属価格の下落で販売単価も下落したことにより、売上高7,531百万円(前年同四半期比10.2%減)、売上総利益1,294百万円(前年同四半期比26.4%減)となりました。

[薄膜]

HD向けルテニウムターゲットの受注が顧客の生産調整の影響で減少し、貴金属価格の下落で販売単価も下落しましたが、スマートフォンなどのBAWデバイス(高周波数信号を取り出すデバイス)向けのターゲット製品の受注が増加し、スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注も回復してきたことから、売上高3,519百万円(前年同四半期比15.0%減)、売上総利益697百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。

[センサー]

半導体製造装置メーカーからの受注が回復し、海外半導体メーカーからの受注が好調に推移したこと、売上高1,426百万円(前年同四半期比14.8%増)、売上総利益450百万円(前年同四半期比17.6%増)となりました。

[その他]

触媒の製造受注が増加しましたが、使用済み電極の回収精製や有機EL向け貴金属化合物の受注が伸び悩み、売上高1,651百万円(前年同四半期比34.4%減)、売上総利益284百万円(前年同四半期比4.3%減)となりました。

②海外売上

当第3四半期累計期間における輸出売上高は2,810百万円(総売上高に占める割合は19.9%)となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高2,127百万円(海外売上高に占める割合は75.7%)、北米向け輸出売上高562百万円(海外売上高に占める割合は20.0%)、欧州向け輸出売上高121百万円(海外売上高に占める割合は4.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は20,038百万円(前事業年度末比1,738百万円の減少)、負債は5,055百万円(前事業年度末比1,751百万円の減少)、純資産は14,982百万円(前事業年度末比12百万円の増加)となりました。

①流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産残高は11,029百万円となり、前事業年度末比1,591百万円減少いたしました。これはたな卸資産が927百万円、未収消費税が392百万円、繰延税金資産が164百万円減少したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産残高は9,009百万円となり、前事業年度末比147百万円減少いたしました。これは繰延税金資産が170百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債残高は2,567百万円となり、前事業年度末比1,772百万円減少いたしました。これは買掛金が1,728百万円減少したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債残高は2,487百万円となり、前事業年度末比21百万円増加いたしました。これは退職給付引金が22百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期会計期間末における純資産残高は14,982百万円となり、前事業年度末比12百万円増加いたしました。これは繰越利益剰余金が32百万円減少しましたが、控除項目である自己株式が39百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年1月29日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表しております計画から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,158	1,018
受取手形	107	117
売掛金	2,821	2,823
商品及び製品	608	298
仕掛品	1,458	976
原材料及び貯蔵品	5,267	5,131
前払費用	46	74
繰延税金資産	523	359
関係会社短期貸付金	121	109
未収消費税等	499	107
その他	6	12
流動資産合計	12,620	11,029
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,540	2,392
構築物(純額)	54	47
機械及び装置(純額)	3,535	3,629
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	36	31
土地	1,612	1,612
リース資産(純額)	52	46
建設仮勘定	9	106
有形固定資産合計	7,840	7,865
無形固定資産	96	86
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	117	117
保険積立金	25	29
長期前払費用	3	6
繰延税金資産	1,011	841
その他	55	55
投資その他の資産合計	1,219	1,056
固定資産合計	9,157	9,009
資産合計	21,777	20,038

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,215	487
短期借入金	-	200
1年内返済予定の長期借入金	1,284	1,060
リース債務	24	15
未払金	331	412
未払法人税等	97	44
賞与引当金	209	89
役員賞与引当金	29	-
設備関係未払金	9	79
前受金	31	44
その他	106	134
流動負債合計	4,340	2,567
固定負債		
長期借入金	1,645	1,640
リース債務	30	34
長期未払金	406	405
退職給付引当金	365	387
資産除去債務	15	15
その他	4	4
固定負債合計	2,466	2,487
負債合計	6,807	5,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	4,279	4,247
自己株式	△302	△263
株主資本合計	14,925	14,932
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
新株予約権	45	51
純資産合計	14,970	14,982
負債純資産合計	21,777	20,038

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	16,288	14,128
売上原価	13,309	11,835
売上総利益	2,978	2,292
販売費及び一般管理費	1,471	1,532
営業利益	1,506	759
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
デリバティブ評価益	-	2
為替差益	93	-
助成金収入	17	53
雑収入	11	8
営業外収益合計	124	65
営業外費用		
支払利息	43	36
デリバティブ評価損	0	-
為替差損	-	41
雑損失	8	-
営業外費用合計	52	78
経常利益	1,578	746
特別損失		
固定資産除却損	-	9
特別損失合計	-	9
税引前四半期純利益	1,578	737
法人税、住民税及び事業税	39	52
法人税等調整額	700	334
四半期純利益	838	350

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	8,386	4,142	1,242	2,516	16,288
セグメント利益	1,758	671	383	297	3,110

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第3四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致していません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,110
たな卸資産評価減	△132
四半期財務諸表の売上総利益	2,978

II 当第3四半期累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	7,531	3,519	1,426	1,651	14,128
セグメント利益	1,294	697	450	284	2,728

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第3四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致していません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,728
たな卸資産評価減	△435
四半期財務諸表の売上総利益	2,292

4. その他

(原材料の固定資産振替)

当社は、第2四半期会計期間において、当社が保有する貴金属地金について、利用実態により即した地金管理を行うため、管理体制を変更しました。その結果、一部の貴金属地金については生産設備等の一部と考えることがより実態に即していると判断し、原材料の一部を固定資産に振替えております。

これにより、「原材料及び貯蔵品」が239百万円減少し、「機械及び装置」が239百万円増加しております。